

新古今 歳時記

平成 27年 8月

戦前の歳時記の様子を紹介した故林鼓浪の連載をもとに、昔懐かしい行事などが、現在と比べながら、話題のイベントを紹介していきたい。
8月と言えばお盆。鳴門市をかわきりに徳島市などで阿波おどりが盛大に行われ、多くのお盆行事が各地で開催される最も賑わう季節。終戦記念日など平和を再認識する8月でもある。



写真：徳島市阿波おどり

8月	新暦・旧暦	雑節・祝日	祭・イベント	季節の風物詩
1 土	つちのと 九紫仏滅	八朔	1日 浅川港祭り (海陽町浅川)	水梨・豊水などの ナシが産直に並ぶ
2 日	かのえいぬ 八日大安	大雨時行	1日 ふじつこちゃん夏まつり (石井町)	各地で川遊びが 盛んになる
3 月	かのとい 七赤赤口		2日 穴吹川筏下り大会 (美馬市)	
4 火	みずのえ 六日先勝		2日 水遊びの祭典遊ばんてえ (吉野川市山川)	
5 水	みずのと 五日先引	夏土用二の丑	2日 大楠まつり (東みよし町)	阿南市など お米の収穫始まる
6 木	きのえとら 四緑先負	広島原爆の日	4日 箸蔵寺夏祭り (三好市池田)	
7 金	きのと 三碧仏滅	夏土用明け 夏土用の間日	7日 鳴門市納涼花火大会 (鳴門市撫養川親水公園)	新町川の屋形船
8 土	ひのえ 二黒大安	立秋 涼風至	8日 鳴門市文化会館 (鳴門市選抜阿波おどり大会)	相生晩茶・阿波晩茶 の発売開始
9 日	ひのと 一白赤口	長崎原爆の日	8日 姫神祭(納涼花火大会) (牟岐町)	
10 月	つちのえ 九紫先勝	道の日	8日 上勝町夏祭り (上勝町 福原農村公園)	露地物のすだちが 店頭に並ぶ
11 火	つちのと 八白友引		8日 東みよし ECTA (東みよし町ぶるパーク)	
12 水	かのえさる 七赤先負	お盆	9日 西祖谷の神代踊り (三好市西祖谷山・天満宮)	
13 木	かのと 六白仏滅	寒蟬鳴	9日 西祖谷の神代踊り (三好市西祖谷山・天満宮)	
			10日 穴喰港祭り (海陽町)	ペルセウス座流星群 観測最適

※掲載の一部イベント情報は、徳島県観光協会「阿波ナビ」より抜粋しています、ご了承ください。

昔 64年前の連載より

七夕間近になると夜空にかけ渡す天の川が次第にさえて彦星と織星が年に一度のちぎりを交わすという七夕が阿波では旧暦でこの九日ごろ。両国橋やすべりの浜で、日暮れ時にめいめいの家から持ち運んでくる笹を川へ投げこむと、水面をほうように流れてゆく美しさ。私は子ども心にあんなたくさん短冊笹がいったい何処へ流れ着くのだろうと不思議がつて見守っていたことをしみじみと思い出す。この日は家庭で使用するスズリを必ず洗ったものである七夕にはどの家でも短冊を書かねばならぬ習慣から、一年中の墨力スをきれいに洗い落とした。

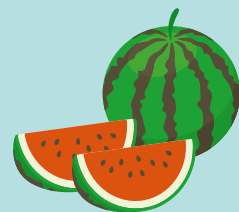
もう一つは、この日に婦人が髪を洗うとたちまち色が白くなるという迷信があった。農村では畑仕事に追われて髪を洗う暇もないのをこの日に限って早朝に洗うほど油が落ちてよいと信じられているのも、髪は清潔な水ですすげと昔の人が七夕に託して教えたものであろう。私が印象づけられているのはつるつると「ケですべり」そつな岩石につくばって洗った髪を乾かしたり、ふさふさとし

た黒髪を肩に垂らして水のしずくを切っている若い娘さんの姿だった。場所が河鹿の聞こえる山村だけにあやしい美感に打たれてボウ然としたことがある。こうした情景は今も昔も山分ではよく見られるであろう。

七夕といえば昔は町々で踊っていたのが、近世になつて盆に限られてしまった。市街の踊りは十六日から始まるが、農村ではやぐらを組んだ上で音頭出しの良い声に合わし、村の人たちが楽しんで暁まで踊りぬいた。現在は昔ほどはずまないといつても南方では海部、北方では阿波、美馬、三好から名西の山分板野郡では北灘や桑島方面は今も盛んに素朴な踊りの手振りを繰り展げるであろう。阿波は浄るどころだけに盆踊歌が二上がりで節がつき、にびいびきをかなでる義太夫三味線がどこまでも情調たつぷりで愛着深いものである。市街の踊りは今年四日間許されているが、農村ではまん丸い盆の月夜をあとに廿日踊りとか、まだ八朔まで催す所がある。

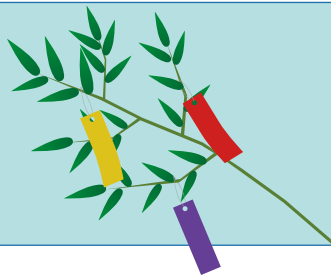
昭和26年8月 徳島新聞連載
阿波歳時記 8月の巻より抜粋
著者：絵師 郷土芸能研究家
林鼓浪（1887～1965）

31 月	30 日	29 土	28 金	27 木	26 水	25 火	24 月	23 日	22 土	21 金	20 木	19 水	18 火	17 月	16 日	15 土	14 金
つちのと 六白赤口 う 旧 7.18	つちのえ 七赤大安 とら 旧 7.17	ひのと 八白仏滅 うし 旧 7.16	ひのえ 九紫先負 ね 旧 7.15	きのと 一白友引 い 旧 7.14	きのえ 二黒先勝 いぬ 旧 7.13	みずのと 三碧赤口 とり 旧 7.12	みずのえ 四緑大安 さる 旧 7.11	かのと 五黄仏滅 ひつじ 旧 7.10	かのえ 六白先負 うま 旧 7.9	つちのと 七赤友引 み 旧 7.8	つちのえ 八白先勝 たつ 旧 7.7	ひのと 九紫赤口 う 旧 7.6	ひのえ 一白大安 とら 旧 7.5	きのと 二黒仏滅 うし 旧 7.4	きのえ 三碧先負 ね 旧 7.3	みずのと 四緑友引 い 旧 7.2	みずのえ 五黄先勝 いぬ 旧 7.1
満月		天地始萌		三りんぼう		処暑 綿村開		上弦		蒙霧升降		終戦記念日 三りんぼう		新月			
30日 焼山寺おこもり法要 (神山町12番札所焼山寺)	26日 納涼月見祭 (東みよし町 八幡神社)	22日 阿波市納涼祭 (阿波市 エエルワホール)	21日 SoundBeerCruise (徳島市 万代中央ふ頭)	20日 神山アーティスト・イン ・レジデンス (神山町)	18日 高越寺の十八山 (吉野川市 高越山頂)	15・16・23日 鉦おどり (三好市山城町)	15日 由岐まつり (美波町由岐)	14日 ひょうたん阿波おどり (北島町)	14日 ドイツビール祭り (鳴門市ドイツ館)	14日 中里盆踊り大会 (海陽町穴喰)	13日 三野フェスタ (三好市三野町)	13日 ふるさとまつり (つるぎ町一宇)	13日 いけだ阿波おどり (三好市池田)	13日 納涼夏まつり (佐那河内村)	12日 徳島市阿波おどり (徳島市)	11日 サウンドフェスティバル (徳島市)	11日 選抜阿波おどり大会 (徳島市)



ぶどうの収穫時期が過ぎる頃

はくちよう座流星群観測できるかも



鳴門クルマエビの発送始まる

今 お盆・七夕

故林鼓浪の連載「阿波歳時記」の八月分を右頁に紹介した。最近では新暦で7月7日の七夕まつりを愛でる行事が、スーパーなどの小売施設で盛んに取り入れられ、少し商業的なイベントになりつつあるのが残念に思う。本来は旧暦、今年は8月20日(木)が正式な七夕となる。

お盆といえは、阿波おどり。県内外から多くの帰省客や観光客で県内は賑わう。著者の私は市内の小中学校に行っていたので、必ず運動会では学校の運動場で阿波踊りを練習し踊らされた。嫌ではなかったが、体が大きいからという理由で毎回、提灯の付いた長い棒を先頭で持つ役だった。いつか大人になったら踊り子として踊りたいとずっと思っていたあの頃が今となつては懐かしい。読者も子ども頃、何かと阿波おどりの経験をした人も多いのではないだろうか？

現在では、選拔有名連をホールステージで観賞したり、機敷などで有名連や企業連の踊りを楽しむことができるほか、ロープウェイ下の眉山会館では、毎日阿波おどりを観たり踊ったりで

きるので、観光客はもとより案内役の地元民にとっても非常に重宝している。

各地でさまざまなイベントや盆行事が行われている中で、特におススメしたいのが、牟岐町の姫神まつりだ。最大の理由は、無人島の大島に年に二度、渡船で来る日であるからだ。珍しい奇岩の湾の奥に、女性器を象った大岩があり、そこに漁船に乗せた男性のシンボルの大きな張子運び、注連縄をかけ直す祭だ。江戸時代から青木家の私有島なので、この機会でないとなかなか上陸は難しい。



写真：姫神まつり（牟岐町・大島）



取材デザイン編集
上野昇 (のちゃん)
四国大学
生活科学部講師